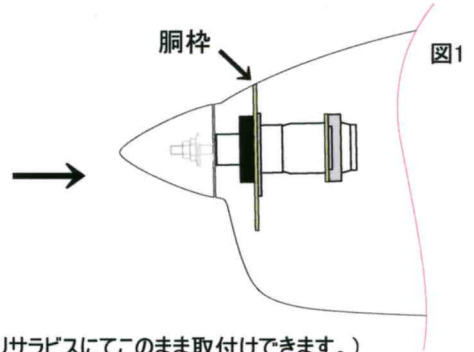


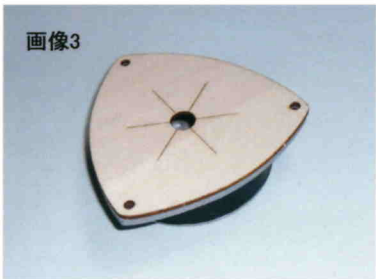
F3A NEUモーター用ハイドソフトマウント取付け説明書 (Raybird用)

この度は、お買い上げ頂き誠にありがとうございました。
説明書の内容をご理解頂き、取付け加工を行ってください。

本製品は、F3A NEUモーター専用となっていますので、他社製モーターには合いません。
ソフトマウントにより機体に伝わるモーターノイズ及びシャフト軸への負担の軽減と、
モーターギヤーのグリスアップ周期を延長する効果が有ります。
付属しているベニヤ製テールリングステーは、サンシャインプロダクト製Raybirdの胴体
側板形状に合わせてレーザーカット加工されています。
※ご使用中に生じた如何なる損害に対して補償致しかねますので、予めご了承願います。
○仕様、及び価格を予告なく変更する場合があります。



画像1: 胴体F1胴枠に取り付ける場合のマウント取付け。(スピナーサイズ82ミリ以上の場合、3ミリサラビスにてそのまま取付けできます。)
※75ミリ等の場合、ソフトマウント取付けのツバ部分のネジ穴(3ミリ)を内側に開け直す必要があります。ゴム部分にナットが当たらない様にご注意ください。
画像2、図1: スピナーサイズが小さい場合、画像1とは前後逆に取り付けて、F1の後方に別途取付け用の胴枠を作り、3ミリCAPビスにて取付けます。

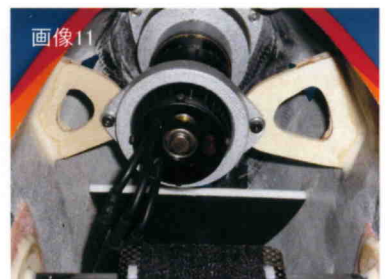


画像3、4: ハイドマウントは一つ一つ手作りの為、形状や穴位置が微妙に異なる場合があります。センター治具の三か所の穴が、マウントと合う位置を探してください。
※ネジ穴位置が合わない時は、治具側の穴を調整してください。治具の位置が合ったら、マウントと治具のそれぞれ1か所にマーキングをして位置を記録してください。
使用後の治具プレートは、マウントとF1胴枠の間にに入れて隙間調整や、スラスト調整等にご利用頂けます。

画像5: お手持ちのスピナーバックプレートと治具を、付属の8ミリボルトにて取り付けます。(画像のスピナーは、82ミリです。)
※この時点ではスピナーバックプレートのシャフト穴は、8ミリのまま行ってください。モーター取付けが完成してから10ミリシャフト軸用に穴を拡大してください。



画像6、7: 裏面に薄手の両面テープを貼り付けておきます。胴枠F1とスピナーバックプレートの周囲が合うように注意して治具を胴体側に貼り付けます。
画像8: 穴位置をF1側にペンでマークします。



画像9: フロント側ハイドマウント取付け状態。
画像10、11: テールリング取付け状態。ベニヤステーを胴体側に合わせて接着します。(胴体との接着面積を確保する為に、二重貼りとしています。)
取付けビス穴は、位置の目安となるようにマーキングのみ行ってありますので、胴体側との接合面を調整してからテールリングに合わせて開けてください。
接着する時は、表面を荒らしてからDUBRO製又はヒロポーの30分エポキシにK&B製のマイクロバルーンを混ぜて接着してください。
※接着が弱く外れた場合は、モーターが暴れる事がありますので、十分にご注意ください。